

診療記録

カルテNo.245 患者名:N044「アンパンマン消防車」 受付日:2018年 6月16日 担当Dr:竹内 健二

*症状

音が出ない。

*診察

- 1.以前に修理した痕跡が有り、ヒューズが飛んだのをバイパスしていた。
 - 2.基板まで電気はきているが、ICからの出力っぽいものは安定せずバラついた数値である。
 - 3.赤色灯のLEDは外部電源でチェックし、片方点灯せず。
- 以上の事よりIC不良と判断。



←写真をクリックすると
ヤフーボックスにジャンプします

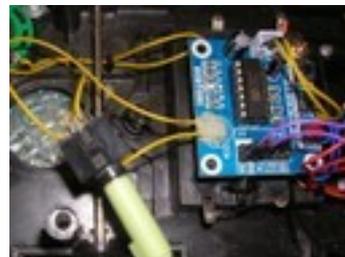
(治療状況の大きい写真が見られます)

*治療-1

(1)ヒューズが焼けた痕跡
ヒューズをバイパスし直接電源に接続されていた。



(2)サイレン音-1
野村所長所有の音声ボードを分けて頂き、ダウンロードした音を録音



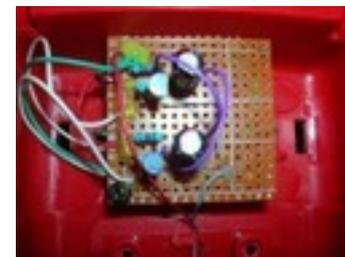
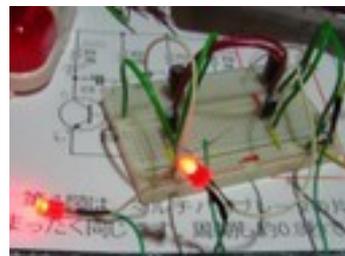
録音に際し、「マイクを外しピンコードでPCから直接録音すると良い」とアドバイスを受け、実際やってみるとノイズのない綺麗な録音ができました。

効果音のダウンロード先をおもちゃ病院HPの会員向けメニューにUPして頂いたの、参考にして下さい。
(色々な音が無料でダウンロード出来ます)

(3)サイレン音-2
サイレン音は手押しした時に作動するスイッチがあったのでそれを流用
スピーカーは元ついていた物を使用。



(4)赤色灯
マルチバイブレーターで点滅回路を作製。
LEDが点灯しないのは片方だけですが、明るさを揃えるため両方交換しました。
電源の切り忘れ防止を兼ね、電源を入れると赤色灯が点灯するようにしています。
ブレッドボードで試作し点滅を確認 作製した点滅回路

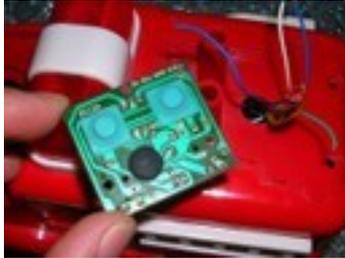


診療記録

*治療-2

実はこの消防車の正式名称は「アンパンマンおしゃべり消防車」であり、アンパンマンが「火を消さなくちゃ」とか喋るんです。そこで、アンパンマンの声を録音し再生出来ればと思いましたが、良い状態のものを取ることが出来ませんでした。なにもしゃべらないのも寂しいと思い、火災発生時のアナウンス「(チャイム) 火事です・火事です」を入れました。

放水音用ボタンに
アナウンスを割り当て



スピーカーは背面内部に
接着剤で固定



音声ボードは元あった基板下に
ホットメルトで固定



*治療を終えて

今回の「アンパンマンおしゃべり消防車」は、約10年位前のものですが、リニューアル版が販売されていて、実売価格が¥1700前後～定価に近い価格でも¥2000ちょいなので、余り治療代を掛けたく無かったのが実情でした。そのことを依頼者の方に相談したところ¥1000位までなら治して欲しいとのことで、音声ボード2枚と点滅回路の作製をすることにし、部品代として、音声ボード¥200×2と、点滅回路¥200の計¥600頂きました。